

第13号議案

名古屋市都市計画マスタープラン2030
地域別構想 金山編（案）について

1. 趣旨
2. 市民意見の概要及び市の考え方
3. 第2回名古屋市都市計画審議会における
意見の概要及び市の考え方
4. 地域別構想“金山編”(案)の構成
5. 今後の予定

金山地区で地域別構想“金山編”を定めることにより、都市計画マスタープランの一部として、まちづくりの方針を行政、開発事業者、住民・団体等と共有し、今後の様々な都市計画手法の活用なども視野に入れ、事業や取り組みをより一層推進させるために、地域別構想“金山編”を名古屋市都市計画マスタープラン2030に位置づけるもの

■ 市民意見募集の実施概要

意見受付期間	令和6年10月7日～11月5日
意見提出者数	47人
意見の件数	133件

■ 意見の内訳

「まちづくりの方針」に関するもの	53件
「まちづくりの方向性」に関するもの	35件
「実現に向けた進め方」に関するもの	7件
「主な配慮すべき視点」に関するもの	11件
「取り組み」に関するもの	66件
全般に関するもの	23件
「アスナル金山エリアの再整備」に関するもの	7件
「古沢公園・市民会館エリアの再整備」に関するもの	19件
「駅南口エリアの利活用」に関するもの	5件
「金山総合駅連絡通路橋の利活用」に関するもの	5件
「道路空間の再編や利活用」に関するもの	4件
「ウォーカブル界隈の形成」に関するもの	3件
その他	14件

■「まちづくりの方針」のうち、「まちづくりの方向性」に関するもの

[市民意見]

- ・金山は、本市における縦軸で人を巻き込む主要な拠点であり、計画案の目的には、縦軸について記載されているが、各項目にその視点が不足していると感じる。
- ・当地域に留まらず、熱田等も含めた広域で捉え、堀川や新堀川など様々な地域資源を活用した、名駅・栄にはないまちづくりを推進してもらいたい。

[市の考え方]

本計画は、整備を予定している市有地を中心に、その波及効果が及ぶと考えられる範囲を対象とした。しかしながら、金山は、熱田エリア、堀川など、様々な魅力的な地域に隣接しており、このような周辺地域との連携は拠点相互の魅力向上を図るためにも不可欠。

また、周辺の地域資源も意識し、回遊性向上につながるまちづくりを進めることは金山の魅力を更に高めるうえで重要であると考えているため、その旨の記述を追加した。

■「まちづくりの方針」のうち、「まちづくりの方向性」に関するもの

〔市民意見〕

- ・型にはまった無機質で深みのないまちづくりをしないよう、工夫してもらいたい。
- ・ストリートピアノや、ダンス、ストリートミュージシャンの演奏など、各人の趣味で交流できる場所を作ってもらいたい。自由に楽しめる空間の増設や、様々な場所で様々なアート作品や舞台、パフォーマンスも見られるようなまちづくりをしてもらいたい。

〔市の考え方〕

金山駅周辺においては、クリエイターやアーティストをはじめ創造的な活動を行う様々な人材が集い交流し、刺激し合う場の創出とともに、新たな劇場を核として、他の文化芸術施設や地域団体等と連携した面的な文化芸術施策を展開し、文化芸術の浸透を図る。

また、新たな劇場では、交流機能を担う施設としてギャラリー等のイベント・コミュニティスペースの配置を検討している。

■「まちづくりの方針」のうち、「実現に向けた進め方」に関するもの

[市民意見]

- ・地域住民やまちづくりで成功を収めてきた方々、小・中学生の意見を聞いて取り入れてもらいたい。

[市の考え方]

事業を進める各段階において、当地域のまちづくりに関する様々な知見を地域の方や有識者等から伺いつつ、検討を深度化する。

■「まちづくりの方針」のうち、「主な配慮すべき視点」に関するもの

[市民意見]

- ・名古屋は、若い女性の東京や大阪への転出や、海外や日本全国から人を呼び寄せ、留めるだけの魅力がないことが課題である。海外や日本中の人が名古屋に行ってみたいと思えるような再整備を望む。
- ・アスナル金山エリア東側の街区等も再整備の対象にしてもらいたい。

[市の考え方]

当地域では、アスナル金山の再整備や新たな劇場の整備とあわせ、交通結節点に相応しい都市機能の集積や多様な文化芸術に触れられるウォーカブルなまちの形成を目指し、地域全体の価値向上やブランディングを図っていく。

また、周辺の民間開発の促進による都市機能の高度化や居住環境の向上を図り、金山地区が様々な人の活動の場として選択されることが重要であると考えているため、民間開発の促進に係る考え方について、記載を改めた。

■「取り組み」のうち、全般に関するもの

[市民意見]

- ・金山駅周辺の再整備にあたり、以下の施設を導入してもらいたい。
- ・図書館、映画館
- ・デパートや話題性のある店舗
- ・子供向けの遊び場や子育て支援センター
- ・音楽やアートなど金山らしい特色のある遊び場

[市の考え方]

令和6年7月に「アスナル金山エリア再整備実施方針（案）」を公表し、駅前複合施設の導入機能として、商業・業務機能、第3ホールに加え、施設の価値向上を図るため、宿泊・住宅・教育・公共機能等のその他の機能についても検討することとした。

具体については、令和7年度からは基本計画の作成に向け、ご意見いただいた施設の導入も含めて民間の事業協力者とともに検討を進める。

■「取り組み」のうち、全般に関するもの

[市民意見]

- ・工事期間中に金山の都市機能が失われることがないように、アスナル金山エリア、古沢公園・市民会館エリア等の着工・竣工時期をずらすなど、代替機能の確保に努めてほしい。また、その計画をプロセスの中に示してもらいたい。

[市の考え方]

当地域では、まちのにぎわい創出に寄与している施設が一時的になくなることが想定されるため、にぎわいの継続が検討課題であると認識。

そのため、再整備の検討にあわせ、連絡通路橋や南口駅前広場の活用、アスナル金山の事業用定期借地の期間延長等も含め、少しでもにぎわいが継続できるよう、今後検討を進める。

また、市民会館については、閉館期間中も当地域の文化芸術の機運を絶やさぬよう、官民のホールの整備状況なども勘案しながら、できる限りの対応を検討する。

■「取り組み」のうち、各エリア等の「取り組み」に関するもの

[市民意見]

- ・古沢公園は、地域の子どもたちにとって大切な公園であるため、大人が憩う公園ではなく、子どもたちが遊べる空間として残してもらいたい。

[市の考え方]

古沢公園は、地域の公園としての機能を維持しつつ、新たな劇場との一体感を持つ魅力的な公園となるよう活用を検討。

詳細については、今後、新たな劇場に関する要求水準書（案）を作成していく中で、関係各所との調整、検討を進める。

■「取り組み」のうち、各エリア等の「取り組み」に関するもの

[市民意見]

- ・駅北側の大規模な再開発計画がある中、駅南側が取り残されてしまうのではないかと危惧している。南口駅前広場の更なる有効活用を図り、幅広く市民がイベントなどに利用出来るよう再整備してもらいたい。
- ・都市再生推進法人を強化し、人々が滞留できる空間をつくってもらいたい。

[市の考え方]

南口駅前広場については、エリアマネジメントの取り組みを進める中で、にぎわい創出の継続的な取り組みと、地域と協働した適切な維持管理が図られるよう検討を進める。

また、金山駅を中心に、駅南北地区一体となったエリアマネジメントや文化芸術施策の展開を図る。

■「取り組み」のうち、各エリア等の「取り組み」に関するもの

[市民意見]

- ・シンボル軸は、歩きやすくなるように車線減・歩道拡幅をしてもらいたい。
- ・アスナル金山の北側の道路（向田町線）をロータリーで回転できるようにし、駅から公園までの切れ目のないシンボル軸にしてはどうか。

[市の考え方]

シンボル軸は、既存の緑豊かな道路空間を継承し、沿道の市有地や民有地と連携した居心地が良い歩行者空間を目指していく。

向田町線は、まちの回遊性向上のため、横断しやすくすることが課題と認識しており、車線減を検討中。道路の横断や活用の方法については車両動線などへの影響も勘案し、当地域にふさわしい道路空間となるよう、検討を進める。

■ まちづくりの方針に関するもの

[名古屋市都市計画審議会における意見]

- ・市のプロジェクトのまちへの波及効果を効果的に進めるためのまちづくりの方向性や仕掛けを、早い段階で具体化してもらいたい。

[市の考え方]

- ・官民連携したまちづくりを進めるにあたり、行政だけでなく地域の方々、地元団体、大学関係者、民間企業など多様な関係者とともに連携し進めることが必要であるため、まちづくり計画のもと、アクションプログラムを含む新たなビジョンを作成していく。なお、関連部分の記載を変更した。

■ まちづくりの方針に関するもの

[名古屋市都市計画審議会における意見]

- ・金山への来訪者や一時的な滞在者だけでなく、首都圏や名古屋駅などと比較して、コストをはじめとした金山の優位性を活かして、働く場としても金山が選択されるよう、今後も取り組んでもらいたい。

[市の考え方]

- ・アスナル金山の再整備や新たな劇場の整備を起爆剤として、都市機能の更新に向け、都市再生制度の活用等により、周辺の民間開発の促進を図るとともに、居心地の良いオープンスペースやまちなかで文化芸術に触れられる環境を整え、働く場としても金山が選択されるよう取り組んでいく。なお、関連部分の記載を変更した。

■ 環境に関するもの

[名古屋市都市計画審議会における意見]

- ・ウォーカブルなまちづくりを行うにあたって、将来にわたる温暖化などの気候変動の影響を考慮して、街路、広場などのまちづくり計画を立ててもらいたい。

[市の考え方]

- ・ヒートアイランド対策等に資するグリーンインフラの取り組みなど、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みにより、持続可能な未来に向けて環境負荷が少ないまちづくりを行うことが必要であり、今後、計画を具体化させていく中で検討していく。

■ 環境に関するもの

[名古屋市都市計画審議会における意見]

- ・金山駅は重要な交通ハブになるため、名古屋市内にとどまらず、広域的な視点でデジタル化などを通じて、交通移動のカーボンニュートラルを促進するような取り組みを進めてもらいたい。

[市の考え方]

- ・「名古屋交通計画2030」においても、「交通分野におけるカーボンニュートラルの推進」を掲げているところであり、金山駅周辺においても、カーボンニュートラルに資する新たなモビリティの活用について、今後検討していく。

■ エリアの考え方に関するもの

[名古屋市都市計画審議会における意見]

- ・まちのゾーニングイメージにおいて、ウォーカブル界隈を示すゾーニングは、自由度や弾力性を持たせても良いのではないか。

[市の考え方]

- ・まちのゾーニングイメージについては、アスナル金山や市民会館など整備を予定している市有地を中心に、その波及効果が及ぶと考えられる周辺を含めた範囲を対象としており、都市再生整備計画に定めているまちなかウォーカブル区域と同じ範囲としている。
- ・周辺地域との連携は、相互の魅力向上につながり、金山の魅力をさらに高めるうえで重要であると考えているため、周辺の地域資源も意識した回遊性向上につながるまちづくりを進めていく。なお、関連部分の記載を変更した。

■ エリアの考え方に関するもの

[名古屋市都市計画審議会における意見]

- ・金山駅周辺地区は、鉄道が東西に横切っており、地区が南北に分断されていることから、人が南北を行き来できるようなエリアとなることを期待している。

[市の考え方]

- ・金山駅連絡通路橋については、駅南北地区をつなぐ回遊性向上に資する施設として、さらなる効果的な活用を図っていく。また、駅周辺一体でエリアマネジメントや文化芸術施策の展開を図り、金山総合駅を中心に分断のないまちづくりを進めていく。

■ その他

[名古屋市都市計画審議会における意見]

- ・将来生み出されるオープンスペースについては、アスナル金山のオープンなステージが持つ雰囲気を残し、さらにまちに音楽やパフォーマンスが広がるような空間をつくってもらいたい。
- ・名古屋は他の地域と比べると観光などの知名度が低いことから、金山の持つ交通などの利便性を活かした名古屋全体としての知名度の向上に資するまちづくりをしてもらいたい。
- ・市民会館の工事等に伴う空白期間は、1,000～2,000席程度の中規模のホールが減ってしまうため、早めに施設整備を進めてもらいたい。

01	目的	01	04	まちづくりの方針	08
			1	まちづくりの方向性	
02	現状と課題	02	2	実現に向けた進め方	
	1 金山を取り巻く状況		3	主な配慮すべき視点	
	2 金山駅周辺の課題等		05	まちの将来イメージ	14
03	まちづくりの コンセプト	07		文化芸術あふれる ウォーカブルなまちの形成	
参考資料	： 取り組み	16			
	1 アスナル金山エリアの再整備				
	2 古沢公園・市民会館エリアの再整備				
	3 駅南口エリアの利活用				
	4 金山総合駅連絡通路橋の利活用				
	5 道路空間の再編や利活用				
	6 ウォーカブル界隈の形成				
	7 エリアマネジメントの展開				
	8 文化芸術の施策展開				
	9 エリア間連携				

時期

内容

令和7年 2月頃

金山駅周辺まちづくり計画の策定に合わせて、
地域別構想“金山編”を公表